

大きな声で、分かりやすく説明

1月25～27日 小学生が葦山反射炉でガイドに挑戦

葦山小学校6年生の児童が、葦山反射炉でガイドに挑戦しました。この取り組みは、同小学校の校外学習の一環で行われており、3日間にわたり実施されました。

ガイドを行った児童は、説明を終えると「緊張したけど、大きな声ではっきり伝えられてよかった」と嬉しそうに話していました。

ガイド用に作成したTシャツを着て説明を行う児童▶



関係4区との協定を更新

1月16日 葦山し尿処理場協定書の締結式を実施

市では、葦山し尿処理場利用に関する協定を関係4区(金谷区、山木区、多田区、土手和田区)と結んでいます。1月17日に協定の満了を迎えることから、引き続き利用していくための更新をしました。

協定書の内容には、新施設の整備に向けた計画を策定、進捗状況を報告することを新たに盛り込みました。

協定書に押印をする区長、議長、市長▶



迫力ある鶴踊りを間近で

1月29日 第52回鶴ばらい祭が開催

伊豆長岡温泉に伝わる奇祭「鶴ばらい祭」が湯らっくす公園で開催されました。

時は平安、源頼政が退治したと伝えられる頭はサル、胴体はトラ、尻尾はヘビの妖怪「鶴」。その鶴退治の故事に基づいて毎年行われている祭りです。

長岡中学校の生徒19人が鶴踊りを披露したほか、芸妓衆による踊り、豆まきなどが行われました。

▶迫力あるパフォーマンスで大歓声に包まれた会場



文化財を火災から守れ!

1月18日 江川邸で防災訓練が実施

文化庁・消防庁が定めた1月26日の「文化財防火デー」にあたり、文化財保護の思想と防災意識を高めることを目的として、関係者参加のもと、防災訓練が江川邸で行われました。

江川邸主家からの出火、裏山への延焼を想定し、避難誘導、文化財の搬出、消火作業などを行い、参加者は連携を確認しながら訓練を行いました。

▶消防署員と放水を行う消防団員



資産の適切な展示・説明に向けて

1月30日 葦山反射炉で現地状況調査実施

葦山反射炉で、海外有識者の現地状況調査が実施されました。今年12月が期限となる世界遺産委員会への状況報告に向けたアドバイスと、登録時の勧告事項への対応状況を確認することが目的です。

調査では、ガイダンスセンターの展示・映像や、反射炉内の案内表示や説明板の記載内容が適切であるかなどを調査員が確認し、指導を行いました。

ガイダンスセンター内の展示を確認する調査員▶



待ちに待ったパンの祭典

1月21・22日 パン祖のパン祭を開催

昨年サントリー地域文化賞を受賞した「パン祖のパン祭」を、葦山時代劇場で2日間にわたり開催しました。会場では、毎年行列をつくる全国パンの販売や、パン食いゲームなどのステージイベントなどが行われ、市内外から多くの来場者が訪れました。

全国高校生パンコンテストでは、さまざまな工夫を凝らした作品が激戦を繰り広げました。

緊迫した空気の中、実技審査に取り組む高校生▶



仲間と1本のタスキをつないで

2月5日 伊豆の国市駅伝大会を開催

冬の恒例行事「伊豆の国市駅伝大会」を、大仁市民会館をスタート・ゴールとして開催しました。

今年は50のチームが出場したほか、リオデジャネイロパラリンピックのマラソンで4位入賞を果たした堀越信司さんをゲストランナーに迎えて行われました。選手たちはタスキをつないで懸命に走り、沿道からは大きな声援が送られました。

▶スタートの大仁市民会館から駆け出す選手たち



ボランティアでトイレ整備

1月25日 市上下水道協同組合がトイレ整備

市上下水道協同組合が、毎年この時期に実施している公園トイレの整備ボランティアを実施しました。

市内20カ所の公園に加えて、今年は5カ所の観光施設でも作業を実施。破損した部品の交換や器具の修理などを行いました。また、最近の冷え込みの影響で凍結し、使用に支障が出ていないか、一つひとつ水を流しながら確認していました。

▶葦山運動公園のトイレで流しの修理

